

(2) 中学部

ア 学部教育目標

生徒の命を守り育み、集団活動や地域生活に必要な力を身に付けるとともに、自発的に周りの人と協力し合おうとする生徒を育成する。

イ 中学部の教育

＜わたしたちの願い及び教育課程編成の基本的な考え方＞

中学部の時期は、二次性徴の発現に伴い、身体の成長や変化が大きく見られる時期であり、一方ではその変化に戸惑いを感じやすい時期でもある。また、思春期を迎え、保護者や周囲の大人と一緒に安定できる環境から一步踏み出し、様々なことに挑戦しながら自己を見つめ直し、自己の確立や心理的な自立に向かおうとする時期である。

このような重要な変化を迎える時期であることを踏まえ、成長・変化する自分自身を適切に受け止めるとともに、これまで培われてきた諸能力を基に自ら新たなことに「チャレンジしようとする」意欲を高めつつ、よりよい自己認識を形成していくことが重要であると考え。

(7) 集団生活や地域生活に必要な力を身に付ける生徒を育成するために

自己への気付きを高め、心理的な自立へ向かおうとする時期であることを踏まえ、中学部においては、集団活動や生活経験をより一層拡大させ、自分のやれそうなことや得意なことなどを知るとともにそれらを発揮して、自分の役割や責任を遂行できたという効力感や有用感を体得できるようにしていくことが大切であると考え。

そこで、中学部では、総合的な学習の時間や生活単元学習、作業学習を中心に、友達同士や様々な人との関わりにおいて、目的を共有し合い共に活動したり、相互に気持ちや考えを伝え合ったりして課題解決する力を身に付けることに重点を置く。同時に、公共施設や交通機関の利用、買い物等の家庭・地域での活動に必要な具体的なスキルを身に付けられるようにしていく。また、教科や教科別の指導においては、これまで身に付けてきた基礎・基本となる能力を更に高めるとともに、将来の生活に必要な実際的な内容を取り入れ身に付けられるようにする。さらに、特別活動や日常生活の指導等を通して、生活年齢に応じた言葉遣いや身だしなみなどの社会生活のルールやマナーについて身に付けられるようにするとともに、校内実習や職場体験学習等の充実を図り、働く生活に関心をもたせ、高等部での職業教育へつなげていきたいと考える。

(4) 自発的に周りの人と協力し合おうとする生徒を育成するために

中学部では、様々な集団や活動、関わりの対象の広がりや考慮して指導を行っていくことが大切である。そこで学級集団を核としながらも、学年での学習や学年を解いた縦割り集団、学部全体での学習の機会などの多様な学習集団の場を設け、様々な友達と目標を共有し共に活動したり、互いに取組を発表して評価し合ったりする活動を取り入れる。また、学校のみならず、交流及び共同学習の充実を図ったり、地域の方々に学ぶ機会や地域等の実際の場でやり取りする機会も設定したりしていく。その際、共に考えていくという教師との信頼関係を基に、友達同士や周りの人との適切な関わり方やコミュニケーション手段などを具体的に提示して指導するとともに、生徒自身が自己選択し、実現可能な目標を立て、自己評価ができるような学習活動を設定していく。また、生徒一人一人の取組を集団の中で十分に認め、自己実現ができた振り返りを行うこと、自信につながり、他者への関わりに広がり、周りの人と共に取組もうとする意欲や態度が育まれていくと考える。

ウ 具体的取組内容

	取組の主眼	具体的な取組内容・方法等
健康・安全	<ul style="list-style-type: none"> ・心身の健康の保持増進 ・健康・安全に関する意識の向上 ・身体を動かす楽しさや喜びの深まり ・命の大切さを学ぶ学習の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の会での入念な健康観察や健康管理に関する家庭や学園との連携（毎朝の検温，連絡帳での情報交換，学園との担当者会，ミーティング） ・健康管理や危険回避など事故防止のための継続的な取組（食育，保健指導，安全指導，情報教育係との連携） ・毎週・毎月の安全点検の徹底，教室内外の整理 ・保健体育や体力づくりでの運動量の確保や指導の充実（実態に合わせたグループ別の活動） ・食育，性に関する指導，心の健康等についての個に応じた支援と計画的な指導（家庭・学園との連携，養護教諭・看護師・栄養教諭との連携）
日常生活	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣に関する能力・態度の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶，言葉遣い，掃除，礼儀作法など個に応じた指導の充実（教材教具を活用した分かりやすい学習環境や教師による手立ての工夫） ・決まりを守る，時間を守るなど望ましい生活習慣の形成と定着を促す個別指導の充実と家庭や学園との連携（チェックリストやアセスメントの活用，校内支援係や生活指導係との連携）
人との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ・発達段階に即したコミュニケーション能力の育成 ・他者との関わりを深める集団活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の気持ちを伝えるための言語及び他のコミュニケーション手段を活用する学習活動の充実（教師のモデリングや働き掛けの工夫，学部共有のサイン・カード・シンボルマーク等の活用） ・言語活動を高めるための学習活動の工夫（自己選択・自己決定を促す機会の設定，話し合い活動や合同学習での発表場面の設定） ・友達との協調性やお互いを思いやる心を育成するための集団学習の実施や工夫（学級・学年・縦割り集団等の多様な学習集団の設定） ・交流及び共同学習における同年齢，異年齢の友達との関わりでの充実（交流校との事前打合せや活動後の記録の充実，委員会活動，各行事等での取組） ・教科等や総合的な学習の時間でのゲストティーチャーの活用（校内・地域人材マップの活用）
地域・社会生活	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や社会に積極的に参加し，活動する力の育成 ・働くことへの興味・関心を高めるとともに，進んで働くための力の育成 ・学部・学校卒業後の社会生活につながる学習の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関や施設の利用等の体験学習の推進（実態に合わせた校外学習計画・実施） ・計画的な金銭の使い方や取扱等の個に応じた学習の充実（教科，生活単元学習，作業学習，校外学習等での取組） ・働くことの意義や喜びを学び，成就感や達成感が得られる作業学習の推進と中高6年間間の中等教育の充実（乗り入れ研修の活用，高等部との連携） ・自分の役割を理解し進んで果たそうとする態度や目標設定から評価までの意志決定能力を育成する指導の工夫（生活単元学習，作業学習，校内実習等での取組） ・卒業後の進学を含めた進路実現に向けての情報提供や指導の充実（キャリア教育，進路指導係との連携） ・余暇の過ごし方へつながる趣味や特技を活かした活動の取組（総合的な学習の時間，休み時間，同好会等の取組，家庭・学園への情報提供） ・自己実現へ向けたケース会議やミーティングの充実（個別の指導計画，教育支援計画の活用，家庭や学園，関係機関との連携）